

発達の段階に応じた運動・スポーツ機会の充実プラン

令和7年12月

スポーツ庁

- ✓ 新型コロナウイルス感染症拡大以降、子供の運動時間は減少傾向が続いている。
運動やスポーツが好き、スポーツへの多様な関わり方に興味関心がある児童生徒ほど運動時間が長くなる傾向にある。
- ✓ 運動の楽しさや喜びを感じ、運動好きな子供や日常から運動に親しむ子供が増え、将来にわたり豊かで幅広いスポーツに親しむことができるよう、生活全体を通じて少しずつでも運動する機会を確保する必要がある。

子供の頃から生涯にわたって運動やスポーツに親しみ習慣化できるよう、学校・地域・家庭における取組を支援

- ✓ 幼児期からの運動習慣形成
- ✓ 学校体育等を通じた運動意欲の向上
- ✓ 地域における持続可能なスポーツ機会の創出

○スポーツ振興くじ助成における、全市区町村を対象とした**地域スポーツ振興助成の創設**

○部活動の地域展開等を通じたスポーツの機会の確保

○小学校の**体育専科教師と地域クラブの指導者を兼ねる新たな働き方**のモデルの創設等を通じた指導者の確保

○スポーツ産業が有するノウハウと学校体育施設等を活用した生涯スポーツ推進モデルの創設



幼児期からの運動習慣形成

○運動遊びや複数種目のスポーツに取り組める**指導者の養成**

○「**幼児期運動指針**」や「**アクティブチャイルドプログラム**」等を活用した実践の促進

学校体育等を通じた運動意欲の向上

○「アスリーチ（体育授業へのアスリートの派遣）」や**共に学ぶ体育授業**の充実

○部活動の地域展開等を通じたスポーツの機会の確保

○学校や地域の**体育・スポーツ施設**の整備促進

○幼児期と小学校体育等との接続や、運動・スポーツを通じた豊かな学習機会等の充実を目指した**学習指導要領の改訂**

